

経 済 民 生 常 任 委 員 会 記 録

令和元年9月13日(金)午後1時45分～午後2時15分(9階904会議室)

○出席委員(8名)

委員長	二階堂武文
副委員長	佐々木 優
委員	高木 直人
委員	川又 康彦
委員	石山 波恵
委員	阿部 亨
委員	小松 良行
委員	山岸 清

○欠席委員(なし)

○市長等部局出席者(なし)

○議 題

- (1) 所管事務調査について
- (2) その他

午後1時45分 開 議

(二階堂武文委員長) ただいまから経済民生常任委員会を再開いたします。

ここからは、所管事務調査について協議してまいりたいと思います。

議題は、お手元に配付の印刷物のとおりです。

所管事務調査について議題といたします。

まず、皆さんに確認したいと思いますが、当委員会でもこれからの委員改選までの2年間、積極的な政策立案と政策提言をする議会という福島市議会基本条例に基づき、市の課題等に対して所管事務調査に取り組んでいきたいと考えておりますが、よろしいでしょうか。

【「異議なし」と呼ぶ者あり】

(二階堂武文委員長) それでは、当委員会でも所管事務調査に取り組んでいきたいと思いますので、

皆様ご協力のほどよろしくお願ひいたします。

次に、資料の所管事務調査の委員長報告までの流れ、イメージをごらんください。皆様に今後の所管事務調査の流れについて、あくまで参考ではありますが、過去に取り組んできた中で一番オーソドックスなパターンということで、2年の任期の中でおおよそ1年ずつ2回の調査に取り組む場合を想定し、資料を作成させていただきました。

1ページ目をごらんいただくと、来年の6月定例会議で委員長報告を行うスケジュールでイメージしており、11月には当局説明、年明け1月には参考人招致、そして2月には行政視察といった調査を入れ込んであります。

調査のテーマや実際の調査の流れによってスケジュールは変わってくる可能性もありますが、2年間のスケジュール感について、皆様のお考えはいかがでしょうか。

2年間で1つのテーマをじっくり取り組む場合や、1回目の調査を6月ではなく次の9月定例会議に行く余裕を持ったパターンもごございます。そのあたりも踏まえてご意見をお願いしたいと思います。

スケジュール感につきまして、2年の期間の、テーマにもよるとは思うのですが、使い方ということで、1年1年に分けてというパターンと、今言ったようなパターンですね。その辺はいかがですか。

(小松良行委員) できれば2年間で1本というよりは、やっぱり集中して政策に、課題に取り組むと。1年1年ののであれば2回開催できるような、この資料のようなスケジュールで進められれば一番いいのかなというふうには思いますけれども。

(二階堂武文委員長) ほか、いかがなものですか。

(山岸清委員) 2年で2本。

(二階堂武文委員長) 2年で2本ですね。

(川又康彦委員) 同じ意見です。

(二階堂武文委員長) よろしいですか。

(山岸清委員) はい。

(二階堂武文委員長) それでは、2年で2本ということで、より絞り込んだ形で、小松委員のほうから1年1年でというような2年間の使い分けについてもございましたが、その辺はよろしいですか、そういった形で。

【「異議なし」と呼ぶ者あり】

(二階堂武文委員長) では、そういった形で今後スケジュール感については確認していきたいと思ひます。

では、大筋そのように進めさせていただきたいと思ひます。調査テーマが決定次第、再度スケジュールは確認させていただきたいと思ひます。

それでは次に、調査テーマの議論に入りたいと思ひますが、正副委員長としましては、10月には調査のテーマを決定していきたいというふうにご考えているところです。今回は初回ですし、委員

会審査終了後ということでもありましたので、まずはざっくばらんに皆様からの現時点での考えとか
思い、所管事務調査に対する考えとか、また具体的にはもうきょうの時点で何かテーマを考えてこ
られている方も中にはいらっしゃるかもしれませんが、そこをざっくばらんに、大体これから15分前
後ほど自由にご意見をいただきたいと思いますが、ふだんの意見開陳方式ではなく、自由討議の形式
で気軽に意見を出し合っていければと思います。

【この間自由討議】

(二階堂武文委員長) 簡単な本日のまとめということで、ホワイトボードのほうをちょっとごらんい
ただいてというふうに思いますが、皆さんのほうから古関裕而氏を生かしたまちづくりについて、有
害鳥獣の問題について、複数の委員の人から挙げていただいたものというところでちょっと絞り込み
をさせていただければ、駅前の再開発絡みで空き店舗の問題とか、古関裕而を生かしたまちづくりの
問題あたりの駅前の再開発の事例と、また東口のにぎわいづくりということで、ちょっと発言が一番
多かったかと思います。続いて、有害鳥獣の問題ということで、今福島で有害鳥獣問題がちょっと深
刻化しているということでご意見をいただきました。コンベンションに関する問題も当然駅前の問題
に絡んできますので、そうしますと古関裕而さんを絡めて持っていくかどうかという問題は今後また
ありますが、東口の再開発、それに絡めたにぎわいづくりというところで、一番多かったところをつ
なげていくとそんな状況なのかなという気がちょっといたします。

最後に、小松委員のほうから締めていただきましたが、報告書を限られた期間の中で当局のほうに
いろいろ政策提言をしていくということを考えてときに、きちっと結果をまとめて、福島市勢伸展に
寄与できるようなインパクトのある提言にまとめていくということを考えてときに、そこも考えなが
ら絞り込みを今後していかなければならないのかなと改めて思いました。

(小松良行委員) あと、委員長、今るるこれだけたくさん出てきたし、次回の機会もあるのでしょう
から、またそれまでに追加であれば、またそのとき聞くにして、今のところはこの中で委員長、副委
員長手元で、いろいろと精査する中ではこの辺に特化していったほうがいいかなんてというようなこ
とでは、きょうの振り返りの中でちょっと絞っていただき、また次回の中でそんなのもご披露もして
いただきながら、またさらに次回で決定していけるようにちょっと調整方よろしくお願いします。

(川又康彦委員) 多分所管の該当みたいなのも多分あると思うので。

(二階堂武文委員長) そうですね。ほかの委員会のちょっと動きもこの間見えてくると思いますので。
そういった中で、皆さんのほうにこれもお配りしていますよね。記入用紙、ちょっともう一度。今書
記のほうで皆さんにお配りした中で、経済民生常任委員会所管事務調査テーマについてという記入用
紙を皆さんのほうにお配りしています。調査テーマ、調査項目、手法ということで、本当に今入り口
の状態での皆さんからアイデアを出していただいた段階ですので、なおこれも踏まえた上で皆さんの
ほうに改めてちょっとこちらのほうに記入していただいて、整理をちょっと。正副もそうなのですが、
皆さんのほうにもちょっと整理をしていただいて、こちらを18日水曜日、来週の水曜日、夕方5時ま

でに事務局のほうにご提出をいただければ、より中身の濃いものにやっつけていけるかなと思いますので。

(川又康彦委員) 水曜日という、次の会議というのは、定例会議中にはやらないで、終わってからという感じになるのですよね。

(小松良行委員) 最終日あたりできないかい、ちょこっと。

(二階堂武文委員長) その辺の日程の調整はこれから話していきます。まず、提出していただいて、お願いします。

では、そのほか何か皆さんのほうからございますか。大丈夫ですか。

【「なし」と呼ぶ者あり】

(二階堂武文委員長) なければ、以上で経済民生常任委員会を終了いたします。

午後 2 時 15 分 散 会

経済民生常任委員長 二階堂 武文